



(2) 差異の理由

2021年4月期はコロナ禍での経済状況を加味し、2020年5月の新規会員企業の獲得の減少および2020年10月までの受注の減少を織り込んだ予想としておりました。売上高につきましては予想を僅かに下回りました。

営業利益及び経常利益につきましては、オンライン面談の推進等で効率的な販管費の使用となりましたが、売上高の推移に加え、当社が保有する販売用不動産の評価損として50百万円を売上原価に計上したことにより、営業利益及び経常利益は予想を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、上記の特別損失の計上および2021年3月15日付「特別損失の計上に関するお知らせ」で公表いたしました特別損失の計上などにより、当初の予想との差異が生じました。

以上